

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「SBI米国小型成長株ファンド(愛称:グレート・スモール)」は2020年5月25日に第1期決算を行いました。

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として、米国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

### 第1期末(2020年5月25日)

基準価額	10,017円
純資産総額	1,404百万円
第1期	
騰落率	0.2%
分配金(税込み)合計	0円

(注1) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注3) 当報告書における比率は、表示桁未満を四捨五入しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、右記ホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ 「ファンド情報」 ⇒ 「当該ファンド」を選択 ⇒ 「目論見書・定期レポート等」を選択 ⇒ 「運用報告書(全体版)」より該当の決算期を選択ください。

# SBI米国小型成長株ファンド (愛称:グレート・スモール)

追加型投信/海外/株式

## 交付運用報告書

第1期(決算日2020年5月25日)

作成対象期間(2019年11月29日~2020年5月25日)

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間: 営業日の9:00~17:00

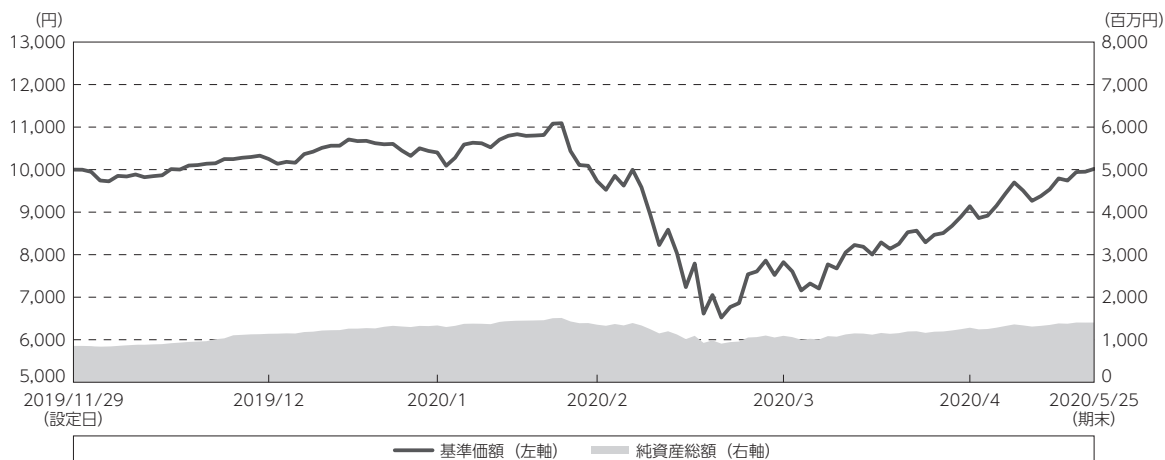
ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

## 運用経過

## 基準価額等の推移

(2019年11月29日～2020年5月25日)



設定日：10,000円

期 末：10,017円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 0.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、期初から2020年2月半ばにかけては米中通商協議の進展期待の高まりなどにより米国株式市場が過去最高値を更新する展開が続いたことから、おおむね上昇基調が継続しました。2019年12月は米国で香港人権法案が可決されたことにより、米中関係悪化への警戒から大きく売られたものの、その後は、米中首脳による通商協議への前向きな発言が伝わり、反発しました。

2020年1月は、イラン情勢緊迫化により一時的に調整したものの、米中通商協議の「第1段階」の合意が達成されたことを受けて、高値圏で推移しました。その後も米国株式市場は過去最高値を更新したことから、当ファンドの基準価額も2020年2月半ばまでは堅調な展開となり、当ファンドの基準価額は2月21日に当期の最高値である11,091円を付けました。

しかしながら、同月末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、中国以外の先進国や新興国などで都市封鎖や経済活動が停止されたことから急落しました。米国株式市場は翌3月半ばにかけて続落し、当ファンドの基準価額は3月19日に当期の最安値である6,522円を付けました。その後は主要国の財政金融政策などの下支えにより過度な懸念が後退し、同月下旬以降は反発基調が継続しました。

5月に入ると、トランプ米大統領による中国批判や対中追加関税の示唆など、新型コロナウイルスをめぐる米中関係の緊張の高まりにより一時的に調整したものの、当期末にかけて米国株式市場は再び上昇基調となり、当ファンドの基準価額も大きく反発しました。当ファンドの基準価額は、期を通じて+0.2%上昇の10,017円で期末を迎えました。

## 1万口当たりの費用明細

(2019年11月29日～2020年5月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	73 ( 41 ) ( 31 ) ( 1 )	0.767 (0.430) (0.323) (0.013)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	12 ( 12 )	0.130 (0.130)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.002 (0.002)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 ) ( そ の 他 )	45 ( 38 ) ( 3 ) ( 5 ) ( 0 )	0.475 (0.396) (0.028) (0.051) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	130	1.374	
期中の平均基準価額は、9,557円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

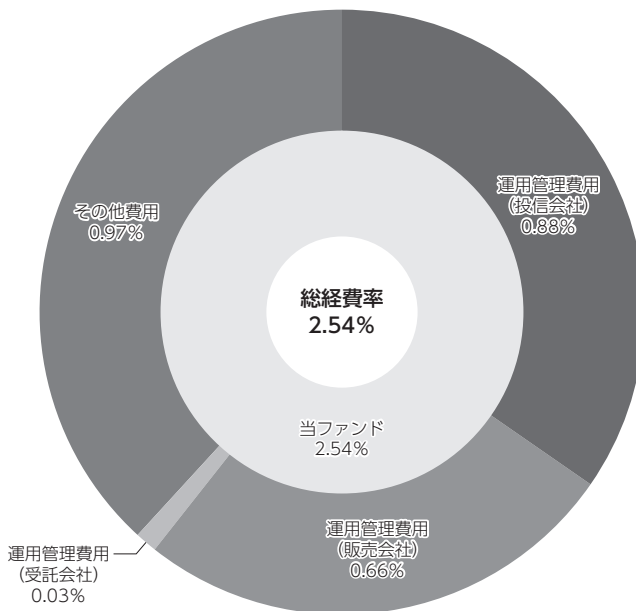
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注6) 当ファンドは実績報酬制を採用しております。当該実績報酬として上記費用とは別に期末（2020年5月25日）に1万口当たり3円を支払っております。

## (参考情報)

## ○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.54%です。



(注1) 上記費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2015年5月25日～2020年5月25日)



- (注1) 当ファンドについては設定日以降のデータが5年に満たないため、実在するデータ(2019年11月29日から2020年5月25日)のみの記載となっております。  
 (注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

	2019年11月29日 設定日	2020年5月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,017
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0
基準価額騰落率 (%)	—	0.2
純資産総額 (百万円)	854	1,404

- (注1) 当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。  
 (注2) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。  
 (注3) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2020年5月25日の騰落率は設定当初との比較です。

**投資環境**

(2019年11月29日～2020年5月25日)

※下記のコメントは、当ファンドのマザーファンドにおいて実質的な運用を行っている、ドリーハウス・キャピタル・マネジメン  
トLLCからのコメントをSBIアセットマネジメントにて和訳・編集したものです。

当期における投資環境及び投資家心理の変遷は、以下の3つの期間に区分されます。

新型コロナウイルスの感染拡大前の第1期間においては、投資家心理は米国経済の景気拡大サイクルの継続に焦点が当てられていました。2019年の米国株式市場は堅調に推移したにもかかわらず、多くの投資家は米国の景気サイクルが「終盤を迎えた」のではないかと懸念していました。2019年の米国株式市場のパフォーマンスは、時価総額、スタイル、セクターを問わず上昇し、2020年もポジティブな環境が続く可能性が示唆され、年明け以降の米国市場は、下値を固め、上昇基調が持続すると思われました。これは、2019年と比較した米国の経済成長率や企業収益のさらなる改善の可能性が、2020年のポジティブな見通しを下支えしていたからです。他のポジティブ要因としては、緩和的な金融政策、低インフレ・低金利環境の持続、潜在的なドル安、堅調な消費支出やサービス業の伸びの継続、製造業の景況感や設備投資の伸びの改善などがあげられます。重要なことは、こうした可変的な要因が投資家にリスク選好をもたらし、米国市場では小型株が大型株を上回るパフォーマンスを上げました。

第2期間は、新型コロナウイルスの感染が拡大し、米国の景気後退懸念により弱気相場に拍車がかかりました。「前代未聞」という言葉が過剰なほど使用されましたが、実際にはこの一言で言い表すことが出来るほどに単純なものではありませんでした。米国株式市場は2月19日に過去最高値を更新後、新型コロナウイルスの世界的な拡散という現実が、その後約1カ月間にわたる壮絶な下げ相場を引き起こしました。2020年3月に起きた出来事は、現代の経済や資本市場において前例のない事態となりました。疫病の感染拡大はこれまでの歴史上に何度も発生しているものの、今回の新型コロナウイルスの危機は世界規模で広がり、救命のための公共医療や医療崩壊を起こさないために「流行のピークを緩やかにする」対策は、これまでにないほどの経済的影響を引き起こしています。屋内退避の形により感染防止のために一定の距離を保つソーシャル・ディスタンス、大規模な集会の禁止や数え切れないほどの強制的な営業施設の閉鎖により、非常に感染力の高い伝染病の蔓延を抑制することには成功したものの、経済活動は短期的には壊滅的な打撃を受けました。

第3期間は、その後の急反発により、多くの投資家が「チャンス逃した」と感じる局面となりました。米国株式市場における3月下旬から5月下旬までの反発は、堅調かつ一本調子の上昇基調となりました。米連邦準備制度理事会(FRB)や米国議会による過去最大の財政・金融政策措置は、金融市場への流動性を供給するとともに、市場を安定化させ、企業、家計など米国経済に幅広く安心感をもたらしました。人類の知恵を結集した取り組みは、これまでのところ新型コロナウイルスに対する新たな診断技術、漸進的な治療、そして記録的なペースで進められ最も大きな進展が見られたワクチンの開発といった分野において、重要な役割を果たしました。こうした政策措置は米国金融市場におけるテール・リスクを取り除いただけではなく、小型株の超過収益を下支えする投資家のリスク選好を促しました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2019年11月29日～2020年5月25日)

## &lt;当ファンド&gt;

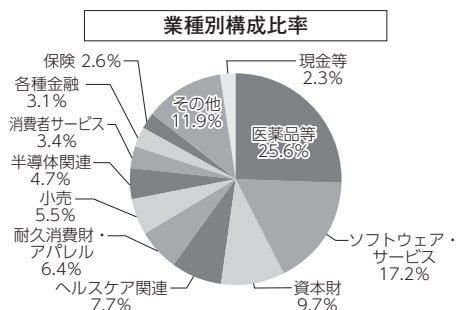
主要投資対象であるSBI米国成長株・マザーファンド受益証券を高位に組入れ、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

## &lt;SBI米国成長株・マザーファンド&gt;

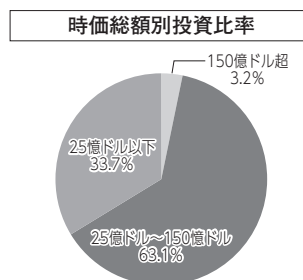
主として、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行いました。

また、流動性と時価総額によるスクリーニングを行い、利益、売上の成長率及び株価のモメンタム（相場の勢い（強弱）や方向性を判断する指標の一つ）等に着目し、原則として80～120銘柄程度に分散投資し、運用いたしました。

なお、決算日時点のポートフォリオについては以下の通りとなっております。



※比率は、マザーファンドの純資産総額に対する割合です。  
※記載の比率は、四捨五入の関係で100%にならない場合があります。



※比率は、マザーファンドの組入株式評価額合計に対する割合です。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2019年11月29日～2020年5月25日)

当ファンドは、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載しておりません。

**分配金**

(2019年11月29日～2020年5月25日)

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 1 期
	2019年11月29日～ 2020年5月25日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	16

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の見通しと運用方針

### <当ファンド>

引き続き、SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）している小型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

### <SBI米国成長株・マザーファンド>

当該投資信託の運用再委託先である、ドリーハウス社は、以下のようにコメントをしています。

#### 【投資行動及びポートフォリオの運用状況】

当期間中の本マザーファンドは、米国の代表的な小型株指数であるラッセル2000グロース指数や他の主要な米国の大型株指数に対して超過収益を上げました。

当期においては、ITやヘルスケア・セクターへの投資が主な超過収益源となりました。当期末にかけての米国株式市場の回復局面では、ヘルスケアやITの保有銘柄に下支えされる形で本マザーファンドの好パフォーマンスが継続しました。その後は他のセクターにも株価の上昇基調が広がる格好となり、特に一般消費財関連でその傾向が顕著となりました。一般消費財関連の大半の銘柄は、2020年1-3月期に付けた安値から株価の反発がみられました。

米国株式市場の回復に伴うポートフォリオの最も大きな変更点は、一般消費財や回復過程の成長関連銘柄の組入れを増加させたことでした。ポートフォリオの調整においては、以下のようなバーベル型アプローチを活用しています。

1つ目の組み合わせは、米国経済の苦境にもかかわらず、好調な事業を展開している銘柄を我々は引き続き多く保有しています。こうした銘柄は、現在のような危機的状況により売上高が伸びる、または需要の急増がみられるテクノロジーやヘルスケア関連銘柄が多く含まれています。これらの革新的でダイナミックな小型株は、インターネット、eコマース、データ通信、ソフトウェア、ITサービス、決済処理、専門分野に特化した保険、診断技術、治療薬開発企業などがあげられます。

2つ目の組み合わせは、景気が底打ちする初期の兆候を示しつつあった、多くの景気循環銘柄です。こうした景気循環銘柄は、住宅建築業者、輸送関連事業者、医療技術や資本財関連、比較的高額な消費財の製造業者などがあげられます。加えて、市場の急落によりバリュエーションが押し下げられた銘柄も保有しており、こうした銘柄は、経済活動の底入れに伴って収益が回復基調をみせています。また、力強い成長モメンタムを持つ銘柄や長期保有目的の銘柄の多くは、今回の新型コロナウイルスの危機が終息に向かうにつれて、強固な財務基盤を持ち、堅調な企業収益を稼ぎ出す力があることを実証し、投資環境の改善に伴い、今後株価のバリュエーションや株価収益率(PER)の上昇が下支えされるでしょう。

## 【米国株式市場の見通し及び投資戦略】

長期的に見れば、米国株の動向は、企業収益、景気、金利、金融政策やインフレ環境によって決まるでしょう。とは言え、短期から中期的な観点では、米国株式市場が向かう最終的な道筋は、米経済やウイルスなど多くの変数の動向次第でしょう。第2波は今後の米経済にとって重要なリスク要因の1つです。とは言え、過去の先行事例をみると、極端に売られ過ぎた状況から始まった今回の上昇相場はまだ終わった訳ではないことを示唆しています。

ほぼ全米規模で新型コロナウイルスからの隔離を実施したことによる深刻な景気悪化や史上類を見ない失業者数の増加は、驚愕の事態を引き起こしました。しかしながら、米国の経済活動は再開し、実際に景気回復の「芽吹き」や初期の兆候が見られ始めています。2020年5月1日以降、米国ではますます多くの州において経済活動が再開されており、新型コロナウイルスの検査数は高止まりしているものの、新規感染者数は減少し、陽性率も急減しています。米国における消費者の信頼感や収入、全般的な消費行動は（航空機での移動、コンサートや映画館への来場等は未だ停止されている状況にもかかわらず）底堅く、消費支出は予想外に力強い戻りをみせました。新型コロナウイルスの感染拡大の第2波、失業者数の持続的な増加、その他のネガティブ・サプライズは引き続きリスク要因ではあるものの、マクロ経済の改善を示す兆候は、2020年3月や4月に予測された数値をはるかに上回る米国経済や、米国企業の収益回復を示唆しています。

革新的な製品ラインナップを持つ多くの米国企業が市場シェアを獲得していることから、我々は米国の広範なヘルスケア分野（バイオテクノロジー、医療機器、生命科学分野におけるツール、診断技術等）における底力に引き続き着目しています。今後数年間にわたるクラウド・サービス、デジタルイゼーション採用のメガ・トレンドにより、テクノロジー、ソフトウェア、IT関連サービス、eコマースといった分野も引き続き堅調です。消費、金融、資本財や他の景気循環セクターに関しては、これらのセクターのファンダメンタルズが改善しつつあることから、ポジティブな見方をしており、投資機会が徐々に増加するとみています。全般的には、成長トレンドにポジティブな変革が生じており、今後より規模の大きな企業に成長を遂げようとしている多くの銘柄群において、有望な投資機会があると考えています。

## お知らせ

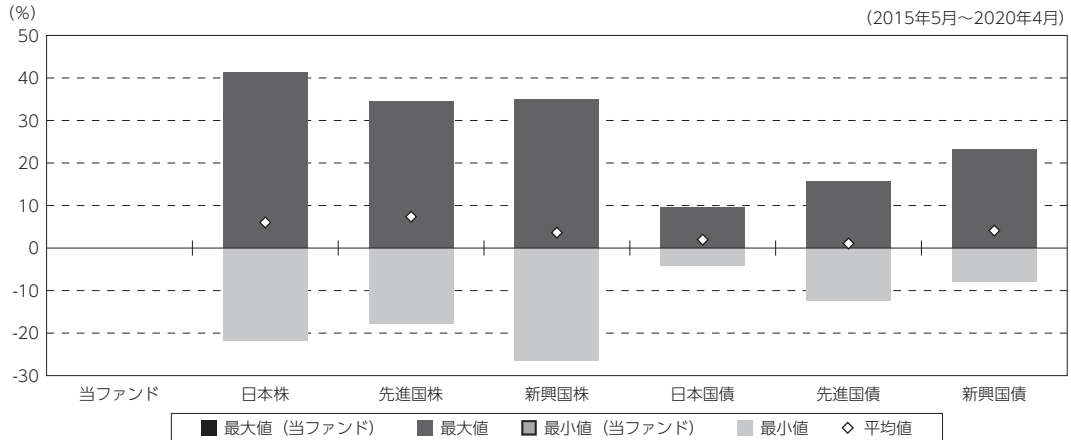
該当事項はありません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2029年11月26日(月)まで(設定日:2019年11月29日(金))	
運用方針	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド(ベビーファンド)	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	米国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している小型株式等を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド(ベビーファンド)	SBI米国成長株・マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。なお、マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
	マザーファンド	原則として、米国の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している小型株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
分配方針	年2回(5月と11月の各25日。休業日の場合は翌営業日)決算時に分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。なお、収益分配にあてず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	-	41.2	34.5	35.0	9.5	15.7	23.2
最小値	-	△ 21.7	△ 17.6	△ 26.4	△ 4.1	△ 12.3	△ 8.0
平均値	-	6.0	7.4	3.6	2.0	1.1	4.1

(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 2015年5月から2020年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注3) 当ファンドについては、直近1年間の騰落率データがないため掲載しておりません。

(注4) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

## 《各資産クラスの指数》

日本株…Morningstar 日本株式

先進国株…Morningstar 先進国株式 (除く日本)

新興国株…Morningstar 新興国株式

日本国債…Morningstar 日本国債

先進国債…Morningstar グローバル国債 (除く日本)

新興国債…Morningstar 新興国ソブリン債

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。各指数は、全て利子・配当込みのグロス・リターン指数です。

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2020年5月25日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第1期末
SBI米国成長株・マザーファンド	100.3%
組入銘柄数	1銘柄

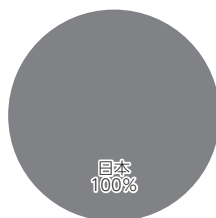
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

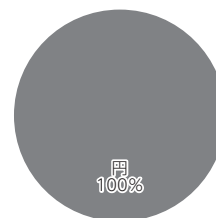
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注1) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。

(注2) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

## 純資産等

項目	第1期末
	2020年5月25日
純資産総額	1,404,144,317円
受益権総口数	1,401,814,358口
1万口当たり基準価額	10,017円

(注) 期中における追加設定元本額は673,534,876円、同解約元本額は126,005,600円です。

## 組入上位ファンドの概要

### SBI米国成長株・マザーファンド

「SBI米国成長株・マザーファンド」は2020年11月25日に初回決算を迎えるため、記載すべき情報はありません。

## <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

### <各指数の概要>

- 日本株：Morningstar 日本株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。
- 先進国株：Morningstar 先進国株式（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。
- 新興国株：Morningstar 新興国株式は、Morningstar, Inc.が発表している配当込み株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。
- 日本国債：Morningstar 日本国債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。
- 先進国債：Morningstar グローバル国債（除く日本）は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。
- 新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債は、Morningstar, Inc.が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

### <重要事項>

本ファンドは、Morningstar, Inc.、又はイボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc.が支配する会社（これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います）が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に本ファンドに投資することの当否、または本ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス（以下「Morningstarインデックス」と言います）の能力について、本ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。本ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は本ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は本ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、本ファンドの基準価額及び設定金額あるいは本ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または本ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、本ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び／又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、本ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害（逸失利益を含む）について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。